

道するべ

第32号

「紅葉」

撮影：森 正廣 2016. 10.16

どうして、「紅葉狩り」って言うの？

狩りとは、「何かをとり山野に入ること」

今でも「いちご狩り」「ぶどう狩り」と「狩り」を使います。

山野に出かけ紅葉などの草花を手にとってながめることから「狩り」の言葉が使われるようになり、やがて紅葉を愛でること自体を「紅葉狩り」と言われるようになりました。

昔は、春の「花見」も「桜狩」と言われていたようです。

最近、歳を重ねるごとに赤色に目が行くようになりました。

今年の紅葉も真っ赤に色づいた木々に目が留まりました。

そろそろ赤いちゃんちゃんこの着る歳…(汗)

ん〜この歳になって、赤いちゃんちゃんこの意味が分かります。(涙)

そして色は、「緑、紫、金、黄、白」、さあ一どの色まで経験できますか？

人生の終盤、悔いのない人生になるよう一日一日を大事に、意義のある日々を送り、皆さんの見本となるよう生き抜きたいと考えます。

「子曰く、学びて時にこれを習う。また悦ばしからずや。

朋遠方より来たるあり。また楽しからずや。

人知らずして憤らずまた君子ならずや」

(論語より)

残すところあと一か月、無事で新年を迎えられることを祈ります。

「綾錦をまとった秋の山々」 紅葉(こうよう)を楽しむのは、こうよ(「艸」)

平成28年11月

森 正廣